

# 脳・心臓・血管

## ワースト脱却処方箋

from 獨協医大



竹川英宏教授

### 脳梗塞(中)

前回「脳卒中を疑う症状」と「脳梗塞の血栓溶解療法（rt-PA静注療法）」について紹介しました。でも脳の太い動

脈や首の動脈が詰まった脳梗塞は血栓溶解療法だけでは良くならない方も多くいます。

56歳女性は、夕食の支度をしている時、「突然」倒れてしまいました。びっくりした旦那さんが様子を見ると、目は開いていますが何回呼んでも返事をしてくれませんでした。旦那さんは「言葉」の異常に気が付き、脳卒中を疑ってすぐに救急車を呼びました。

検査の結果、脳梗塞と判明し、すぐに血栓溶解療法を開始しました。しかし良くなる気配がありません。

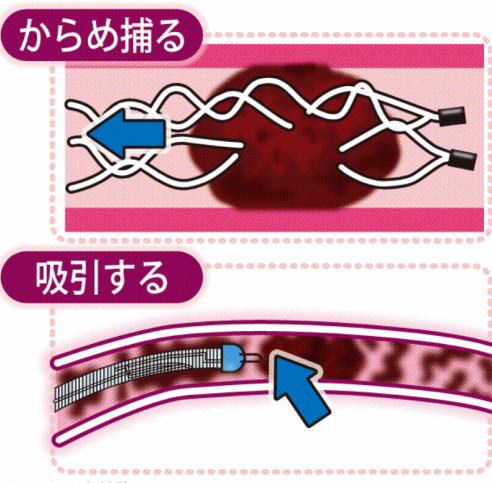
実は脳の画像で脳の太い動脈が詰まっていることが分かっていたので、このため私たちは血栓溶解療法に加え、「機械的血栓回収療法」を行う準備をしていました。

この治療は、主に脚の付け根にある太い動脈から「カテーテル」と呼ばれる管を入れて行います。カテーテルを詰まった動脈まで進め、詰まらせた動脈を直接吸引する、もしくははからめ捕る治療です。掃除機のごみを吸い込む、網でごみをからめて引っ張り出すという感じ

## 詰まった血栓 吸引・除去

この治療は、主に脚の付け根にある太い動脈から「カテーテル」と呼ばれる管を入れて行います。カテーテルを詰まった動脈まで進め、詰まらせた動脈を直接吸引する、もしくははからめ捕る治療です。掃除機のごみを吸い込む、網でごみをからめて引っ張り出すという感じ

です。この治療も時間制限があります。「症状が出現してから6時間以内」です。血栓溶解療法の4・5時間と比べ、余裕があるようにみえます。でも時間がたつほど脳梗塞は大きくなるので、たとえ6時間以内でも治療できないこともあります。



イラスト/ 小林隆一 SHIMOTSUKE GRAPHICS

だから脳梗塞は（血栓溶解療法も踏まえ）症状が「出現してから3・5時間以内」に病院へ到着することが必要です。でも6時間近く時間がたつていても諦める必要はありません。

この患者さんは、言葉の障害と右側の手足の運動障害を残してしまいました。幸い自分で歩くことができ、寝たきりになることはありませんでした。

このような治療が脳梗塞の最新治療ですが、一番の治療は脳梗塞（脳卒中）にならないことです。

- 「高血圧（血圧が高い）」
- 「糖尿病（血糖値が高い）」
- 「心房細動（脈が不整）」
- 「高脂血症（コレステロールが高い）」
- 「喫煙」
- 「お酒の飲み過ぎ」
- 「運動不足」

は脳卒中の危険因子です。

生活習慣に注意し、健康診断を受けて脳卒中にならないようにしましょう！

（獨協医大病院脳卒中センター）長 竹川英宏（毎週金曜日掲載）